



③ 製品等価格への転嫁の状況（注3）

$\frac{A}{B} - \frac{a}{b} = P$	指定業種に係る転嫁の状況 P = _____
A : 最近3か月間の原油等の仕入額 ( 年 月 ~ 年 月)	全体に係る転嫁の状況 P = _____
a : Aの期間に対応する前年3か月間の原油等の仕入額 ( 年 月 ~ 年 月)	指定業種に係る仕入額 _____ 円
B : 最近3か月間の売上高 ( 年 月 ~ 年 月)	全体に係る仕入額 _____ 円
b : Bの期間に対応する前年3か月間の売上高 ( 年 月 ~ 年 月)	指定業種に係る売上高 _____ 円
	全体に係る売上高 _____ 円

年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

信用保証協会への申込期間

年 月 日から 年 月 日まで

美郷町長 \_\_\_\_\_

(注1) 本様式は、指定業種と非指定業種を兼業している場合であって、指定業種及び申請者全体の双方が認定基準を満たす場合に使用する。

(注2) 上昇率、依存率及び最近1か月間における全体の売上原価に占める指定業種の売上原価の割合が20%以上となっていること。

(注3) P > 0 となっていること。

(注4) 売上高比較表を添付すること。

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 認定日から30日以内に金融機関又は信用保証協会に対して、保証の申込みを行うことが必要です。

## 売上高比較表

(表1：原油等の仕入単価の上昇【①】)

	【指定業種】	【全体】
E：原油等の最近1か月における平均仕入単価	円	円
e：Eの期間に対応する前年1か月間の平均仕入単価	円	円
上昇率： $E/e \times 100 - 100$	%	%

(表2：原油等が売上原価に占める割合【②】)

	【主たる業種】	【全体】
C：申込時点における最新の売上原価	円	円
S：Cの売上原価に対応する原油等の仕入価格	円	円
依存率： $S/C \times 100$	%	%

(表3：製品等価格への転嫁の状況【③】)

	【主たる業種】	【全体】
A：申込時点における最近3か月間の原油等の仕入価格	円	円
a：Aの期間に対応する前年3か月間の原油等の仕入価格	円	円
B：申込時点における最近3か月間の売上高	円	円
b：Bの期間に対応する前年3か月間の売上高	円	円
転嫁状況 $P : (A/B) - (a/b)$		

(表4：最近1か月における全体の売上原価に占める指定業種の売上原価の割合)

指定業種の売上原価の割合	%
--------------	---

(宛先) 美 郷 町 長

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

(申請者) 住 所

会社名(商号)

代表者(氏名)